

(前のページから)

(岡村理事長) 私たちも青年経済人の集まりなので、どんな逆境にも負けない経営者になろうと考えています。四十歳までしかできない活動なので地域のため自分のため家族のため、色々なパワーが毎月集まって色々と討論しています。もがき苦しみながら一杯一杯やっているメンバーもいると思いますが。

(小田市長) 我々も一緒です。生活は基本なのでしっかりとしなければなりません。しかし実は厳しい。それをバネに次の乙訓地域のまちの活性化に向けて、自らの修練とし、成長しようとしています。これもJICの精神ではないかと思えますので、まちづくりと一緒にしたいと思います。市民の要望に対して唯唯諾諾と応じれば良いのですが、やはり懐かしつかりと締めながら市民サービスに対応していく。行財政改革をしつかりと点検しながら進む。新たな行政需要に対応する。やりっ放しでは予算が膨らむばかりです。見直し・廃止・統合した財源で振り分けることが重要ではないかと考えています。

(岡村理事長) 私たちは子を持つ親の世代です。子どもたちのこれからを考える上でメンバーと話したところ、親も、親としての教育が必要だという意見が出ました。日本の昔からある道徳心、人を傷つけない、社会のルールを守らなければならないという簡単なことをまずはメンバーが改めて理解する。それから自分の周り、家族、従業員とその輪を広げることができればと考えています。

(小田市長) 本当にそうですね。子どもの教育は保護者や学校の先生がやりますが、親の教育は誰がするのかわからないことになり、日本が持つ文化と伝統、心を大切にする教育が必要だと私も同感です。私の言葉では「文化教育立市」です。生活に潤いと喜びと感動

### 委員会紹介 人間力向上委員会

人間力向上委員会では三月、九月、十一月と三回の例会を開催させていただきます。まず初めに先日行なわれました三月三LOM合同オープン例会ではより良い人間関係を築く為の洞察力をテーマに喜田寛氏をお招きしご講演いただきました。



そして九月例会では「自己の表現能力」、十一月例会では「主体性のある行動力」に関する例会を引き続きオープン形式で開催させていただきます。現在は厳しい社会情勢ではありますが、三回の例会を通じ、行動力を内からサポートする人間力を向上させ、地域社会の為に行動出来る人物になつて頂きます。人間力が向上する事で、家族はもとより、職場の仲間、地域の方々々に信頼され、地域の為に行動出来る人物になれるように取組んでいきます。

個性あふれるメンバーが難しくもあり楽しくもある例会を設えさせていただきますので一年間どうぞよろしくお願います。

(記事人間力向上委員会幹事 中川浩二)

を与える文化活動やスポーツ活動を大切にしながら、文化教育立市を目指していきたい。

そのためには地域コミュニティを含めた地域力の向上、文化力の創造、そして連携力の強化。この三つを中心にまちづくりを進めていきます。教育というのは非常に大事。ただし教育は百年の大計とも言い、多少時間は掛かります。将来を背負う子どもたちが育っていくというのは大事な視点であり、その観点では皆様方は、ふれあい駅伝や子どもを対象にした素晴らしい事業を展開されています。

(岡村理事長) 駅伝も十年目に入り、ずいぶん評判になりました。治道での応援も増えました。僕たちはオレンジのジャンパーを着て、事故のないように治道警備をしています。今後、車の流れも変わるでしょうしコースを見直していかなければならないのかなと考えています。

(小田市長) 是非とも継続して開催していただきますようお願いいたします。

(岡村理事長) 最後に乙訓青年会議所メンバーに、市長からお言葉をいただきたいのですが。(小田市長) 先ほども申し上げましたが、皆様は行動力があります。またJICの組織は、日本全国でネットワークを張られている組織であり、その理念、JICの考え方は浸透しているのではないかと思います。皆様には、この乙訓地域が少しでも良いまちに繋がっていくよう布石を打つていただいていると感じています。それを歴史引き継いで今日まで承られましたから、その伝統と精神を今後も引き継いでいただきたい事をお願いいたします。そのように期待をしております。(記事 堤淳太)



### 四月一〇〇%出席例会のご案内

乙訓青年会議所が「明るい豊かな社会の実現」に向けて更に活発な運動を展開する為には、会員全員で過去をふり返り、共通の歴史認識を持つと共に地域の方々からの負託に応え信頼を得て、今日の乙訓青年会議所がある事を再認識する事が大切なのではないでしょうか。一〇〇%出席で設立を祝い、脈々と受け継がれて来た想いを受け継いで、会員の今後更なる活発な活動に繋げて行きます。会員の皆様は是非とも例会へのご参加をよろしくお願い申し上げます。

●日時 二〇一三年四月十一日(木) 十八時三〇分～二十一時〇〇分 (登録開始十八時〇〇分)

●会場 長岡京市立中央公民館 三階 市民ホール

●電話 〇七五一九五一―一二七八

JIC運動情報委員会 委員長 崔祥龍

### 三月三LOM合同オープン例会

三月一四日(木) 長岡京市中央生涯学習センター三階メインホールにて、三月三LOM合同オープン例会を開催致しました。

本年度、人間力向上委員会では、三回の例会を開催し、それぞれの例会で三つの人間力の構成要素について深く考えて頂き、人の為に何が出来たのかを根本に考えられる人間力の向上を目指します。

三月例会では、社団法人亀岡青年会議所、一般社団法人船井青年会議所と共に人間力の構成要素の一つ「本質を見抜く洞察力」をテーマに掲げ、講師に株式会社喜田寛総合研究所の喜田寛氏をお招きし「より良い人間関係を築く為の洞察力」人の為に行動出来る人物へ」と題して開催致しました。講演の前半では、喜田氏の今までの経験や人を見抜くポイントなど貴重なお話をさせて頂きました。普段あたりまえにしている事をもっと深く考え観察する事でそのものの本質を知ることが出来るのではないかと思います。

### メンバー紹介

初めまして、南出さんの紹介で入会させて頂きました大野允裕です。まだ半年ですが祇園繩手でB

ARを経営しています。店の広さとしてはカウンター六席とボックス一席五人ぐらいの小さいお店なのですが、ゆくゆく



後半では、各LOM代表者一名と一般来場者一名に二分間、スピーチをして頂きそれを聞いた喜田氏がその人の本質を見抜き今後のアドバイスをなされました。スピーチをされた四名の方は、今後の青年会議所活動、生活に於いて貴重なアドバイスを頂いたのではないのでしょうか。

最後にこの例会では地域の異なる三LOMが合同で開催するため担当委員会のメンバーは設営など大変だったと思いますが、地域や背景が異なるというデメリットよりも合同ですることでのスケールメリットの大きさを実感する事が出来、また新しい出会いや友情が生まれお互いに刺激される例会になったと思います。(記事 黒川昌哉)

は商売を軌道に乗せ広いお店に移転したいと思っております。このJIC活動に参加させて頂いて、まだ数回ですが色々な人と出会う皆様の本気でJIC活動に参加されているのを実感いたしました。私自身も先輩方の背中を見ていき自分自身の成長の為にも積極的に参加していきたいと思っております。まだまだ未熟ですがよろしくお願致します。

4月	乙訓 JIC	行政	他団体
1月	JIC運動情報委員会	きりしま苑の子育て支援	
2月	乙訓JIC説明会		
3月	青少年育成委員会		
4月	正副理事長会議	桜まつり(向日市)	
5月		桜まつり(向日市)	
6日			
7日			
8日	ビジョン会議	きりしま苑の子育て支援	
9日			
10日			
11日	三月份会		京おとくにまちおとし
12日			
13日			
14日			
15日	人間力向上委員会	きりしま苑の子育て支援	
16日	会員交流委員会		
17日	理事会		
18日			
19日		子供の広場(長岡京市)	
20日			
21日	まちづくり委員会	きりしま苑の子育て支援	
22日	会員拡大委員会		
23日		きりしま苑の子育て支援	
24日			
25日	総務財政委員会		
26日			
27日			
28日			
29日			
30日			
31日			

(行政、他団体はHPから抜粋)